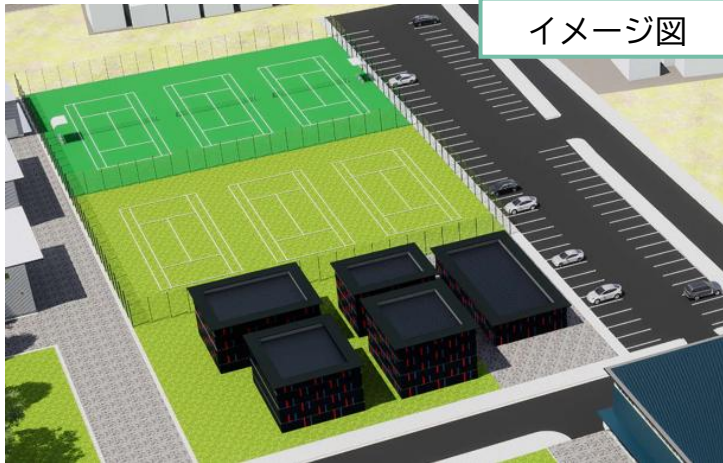


事業概要：ルクセンブルクパビリオン部材再利用による子育て支援施設整備事業

申請者	大阪府交野市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R 9 年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	675,000千円 (49,000千円)
事業分野	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野（大項目）	地場産業支援関連事業
目的・効果	・大阪・関西万博で使用されたルクセンブルクパビリオン施設部材を、本市の廃校跡に子育て支援施設として再生・再利用することで、若者や女性が地域の未来に希望を持ち、安心して働き暮らせる生活環境の創生、地域経済の発展を目指す。 ・本市では、子育て世代の転入超過が継続している背景を踏まえ、子育て施策の推進や地域課題の解消のみならず、万博レガシーの継承、SDGs達成への貢献、資源循環モデルケースの実現、国際交流の深化など、付加価値の高い事業となるよう創意工夫を図る。 ・同事業は、全国的に見ても前例のないシンボリックなプロジェクトであり、地域の子育て環境の質の向上に伴う現役世代の増加、持続可能な社会構築に向けての啓発効果、まちの賑わいづくりの向上など多面的に寄与するもの。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・本市は、2025大阪万博ルクセンブルク経済利益団体と、持続可能な未来社会の実現という2025年日本国際博覧会の理念を共有し、万博で使用されたルクセンブルクパビリオン施設部材の再生・再利用を通じて、両者の友好交流を深めていくことを目的として協定を締結した。 ・本事業では、パビリオン施設部材（鉄骨躯体等）を再生・再利用し、未就学児と保護者が安心して遊ぶことができる屋内施設と、ボール遊びができる多目的芝生広場を整備するもの。					イメージ図 	
	【拠点整備事業】 ・建築物及び芝生広場の設計業務 49,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入超過数（+402人） ②地域子育て支援センターの延べ利用者数（+4,450人） ③地域のつながりや支え合いにより安心して子育てできる」と思う市民の割合（+10%で、90%以上を目指す）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2026052100053/